

# あこがれの連鎖と 幸せな暮らし創造事業



提案者：鹿児島県徳之島町

# 自治体SDGsモデル事業の概要

## 概要

外海離島にある徳之島町が抱える時間的・地理的等の条件不利性に規定されつつも、コワーキングスペース「みらい創りラボ」井之川を拠点として、住民・島内外企業、大学等とのパートナーシップを構築し、SDGsの達成を目指す。

### 経済面の取り組み

クリエイティブファクトリー  
構築事業  
徳之島みらい創りプロジェクト  
ワーケーションによる新しい働き方  
実証事業  
先端技術導入によるオープンイノベーション  
創出事業



### 社会面の取り組み

「おかげさまサイクル」でつなぐ  
エコビレッジコミュニティの再興  
地消地産による循環型経済の構築



### 環境面の取り組み

「おかげさまサイクル」でつなぐ  
エコビレッジコミュニティの再興  
われんきゃ（子ども）エコツアー  
ガイド育成事業



### 三側面をつなぐ統合的取組

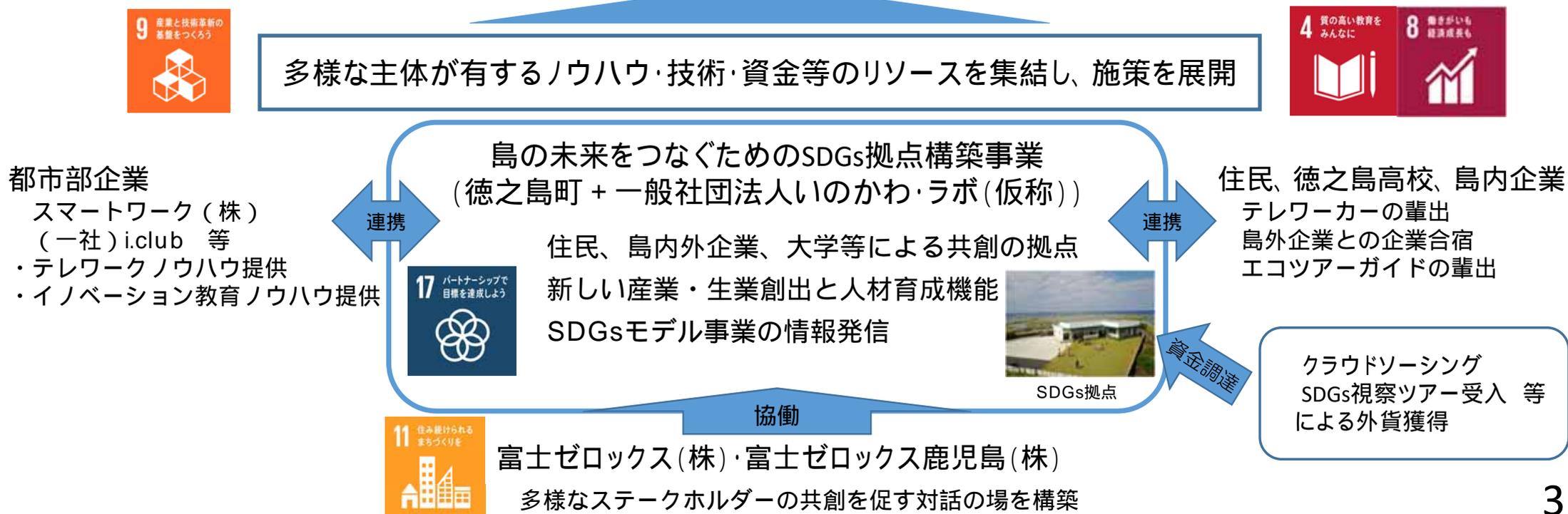
島の未来をつなぐためのSDGs拠点構築事業  
「おかげさまサイクル」でつなぐエコビレッジコミュニティの再興

# 三側面をつなぐ統合的取組

## 島の未来をつなぐためのSDGs拠点構築事業

これまで徳之島町の coworking space「みらい創りラボ」井之川で展開してきた島内外の多様な主体との パートナーシップ を発展させ、特にSDGsの実践が着目する 地域社会の経済、社会、環境に関する課題を対話等 により引き出し、マルチステークホルダーの共創を具現化する。

### 「あこがれの連鎖」を創出



「非公表資料」

# 相乗効果

## 【経済 社会】

シマ（集落）から始まるナリワイ（小さな経済）創出と社会的包摂の具現化

### 経済→社会

多様なプレイヤーによる対話を場としたダイバーシティの具現化

ナリワイ創出による高齢者、障がい者、老若男女の社会的包摂

### 社会→経済

離島のハンディを感じる事のない先端技術へのアクセス

プログラミング等IT技術者誘致やテレワーカーの確保

## 「あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造」

若い世代を惹起するテレワーク等による新しい産業創出とエコビレッジを拠点とした社会的包摂により、持続可能な地域循環を実現する。

## 【経済 環境】

付加価値の高い生業創出と先端技術導入による「稼ぐ力」の発揮

### 経済→環境

イノベーション教育による環境課題へのチャレンジ

エコを付加価値とすることで自然環境の保全に資する

### 環境→経済

自然環境の適正利用を前提とした持続可能な観光業の促進

エコをコンセプトとした商品開発によるCSR投資等

## 【社会 環境】

エコビレッジとしてのシマ（集落）の再興

### 社会→環境

地域人材をメンターとした環境教育を確立

高齢者、障がい者、老若男女「誰もが」できる方法で環境保全を具体化

### 環境→社会

多様な主体の共創プロジェクトテーマとして環境を配置

環境価値の創出のために集落の「誰もが」参画できる仕組みを構築する

# 自律的好循環

## 島の未来をつなぐためのSDGs拠点構築事業

本モデル事業においてコワーキングスペース「みらい創りラボ」井之川のSDGs拠点としての昇華を図り、2020年度以降は、SDGs視察ツアー（有料化）やクラウドソーシング等の外貨獲得による事業資金を確保する。「みらい創りラボ」井之川で実施する「みらい創り対話会」において、住民・島内外企業・大学・行政・メンター等多様な主体が対話によりつながり、デザイン思考も活用した地域ビジネスを構築する。その過程で、高齢者、女性及び子ども達等も含む多様なステークホルダーが共創して島の活性化に取り組むダイバーシティの具現化をベースとした社会・経済の自律的好循環につなげる。「あこがれの連鎖」が創出されることで、高校卒業後に島外転出した人々のUターンの惹起・人材の還流を促す。

## 「おかげさまサイクル」でつなぐエコビレッジコミュニティの再興

「集落+合同会社」型の地域運営組織を導入し、「おかげさま」のシェアを理念とした住民自治・協働を再興する。機能性確認等の付加価値化を進める自生有用植物（ヨモギ・月桃・シナモン等）を活用した商品開発や体験プログラム開発による地域循環型経済を構築する。エコや世界自然遺産を活動テーマとする企業からのCSR・CSV投資や集落出身者から構成される郷友会からの寄付、ふるさと納税等の呼び込みを図る。

# ■ モデル事業の普及展開性

## 自治体間の多面的な連携から

### 奄美群島広域事務組合

徳之島町を含む奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町の12市町村で構成する特別地方公共団体である「奄美群島広域事務組合」への政策提言等によるモデル事業の横展開と「奄美群島」という圏域でのSDGs推進への昇華を図る。



ロゴ：「世界に飛び出す奄美群島」  
奄美群島の将来像をイメージした  
各島のカラーイメージで描画。  
(平成23年度設定)

### 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会

奄美群島12市町村及び沖縄島北部12市町村（沖縄県東村、伊江村、伊平屋村、伊是名村、国頭村、名護市、今帰仁村、大宜味村、恩納村、本部町及び金武町）で構成する広域協議会「奄美・やんばる広域圏交流推進協議会」加盟の両地域は、2020年の世界自然遺産登録を目指しており、環境面の取り組みでは特に連携・情報共有を図ることで、県域を超えて世界自然遺産候補地という共通価値を土台としたSDGs推進を図る。